

一步一步を積み重ねていく

会報誌がお手元に届く頃には、ワクチンの接種が一段と進み、感染が拡大していないことを願うばかりです。誰もが1年以上もコロナに悩まされるとは思っていなかったのが実情です。コロナ禍で生まれたことばも沢山あります。アベノマスク、リモート、三密、ソーシャルディスタンスなど・・・数年後にはことばを聞いて、あの頃は〇〇だったと思い出すことになります。これから接種を受ける方も含め、本音を言えば、日本が開発したワクチンの接種を受けたかったのが国民感情だと思います。しかし国内のコロナワクチンは臨床試験が始まったばかりです。開発には莫大な費用と期間と法律の壁が立ちます。様々な研究機関がある中で、地団駄を踏んだ研究者も多くいたと思います。研究者は自分が目指す研究に一生を捧げると言います。むしろ日の目を見ない研究、研究者が多い中で、自分を信じて目標を達成するために日々努力をされています。

職種は違いますが、「ことば音楽療法」の創始者 堀田喜久男氏も20年以上に及ぶ実践と研究を地道に続けて来られました。それを本にまとめ、ここ10年は指導者の育成をしてきました。発語研究所（ご自宅）にある多くの玩具や資料を見るにつけ、積み重ねの大変さを思います。結果、ことば音楽療法が生まれたことがわかります。この療法を引き継ぐ指導者も目標をしっかり持ち、日々の勉強と研究を怠らず、積み重ねていくことで、社会の中で輝いていけると思います。

どんな職種でも、プロは存在します。プロはそれが出来て当たり前です。そのプロ集団から一歩抜け出すことで、自分の求めるものにまた一歩近づけるのです。地道に積み重ねていって下さい。

事務局（Y/T）

INDEX

● 一步一步を積み重ねていく／事務局	1 ページ
● 第8回 日本ことば療法学会 報告	2 ページ
● トンネル／委員長 高橋亮太郎	3 ページ
● ことば音楽療法士、6年目の歩み！／水尻真美香	4 ページ
● コロナ禍における療育と子どもの成長／天野 咲輝	5 ページ
● 障がい児・者のことば療育基金	6 ページ
● <コラム19> 穴戸理恵 ● Facebook、Twitter 随時発信中!!	7 ページ
● 認定校・認定教室	8 ページ

第8回 日本ことば療法学会 報告

第8回日本ことば療法学会が6月26・27日（土・日曜日）に大阪にて開催されました。

コロナ禍で大阪にもまん延防止の発令が出ていましたが、感染防止に努め、密にならないように会場と生配信（ZOOM）の両輪で開催しました。1日目はことば療法士の講習会、2日目は学会です。2日間で105名（6割がリモート）の参加でした。コロナ禍でもあり、ここ1年で急速に通信技術や会議用ソフトの質が向上したことで、リモートを導入することが出来ました。

学会の基調講演では米山直樹氏が～言語・コミュニケーション訓練を中心に～と題し学会に沿った講演をして頂きました。深谷靖子先生は出版本～実践！障がい児・者へのことば音楽療法～その後と題して講習をして頂きました。シンポジウムは、ことばの療法～地域との繋がり～の題目で4名のシンポジスト（後藤浩子氏・高橋亮太郎氏・小林紳一氏・増田左知子氏）により、地域に繋がるヒントを多く語って頂きました。第2回 堀田喜久男 賞（宍戸理恵）や第1回ことば療育基金の受賞発表もありました（受賞者：小林紳一・深谷靖子 内容は6ページに掲載）。

最後に中島真治先生・末吉裕美先生による2つの研究発表がありました。受講されている方は、どの時間帯も接している子どもさんのことを浮かべているのか、頷く方も多く、真剣に取り組んでみえました。その後、総会を行い、2年ぶりの学会は無事閉会しました。

参加いただいた方、ご協力頂いた方々、ありがとうございました。令和4年は福岡にて6月末ごろに開催予定です。

第8回 日本ことば療法学会 大阪

2日とも同時生配信

日程▶令和3年6月26日(土)・27日(日)
会場▶大阪府立大学 1-site なんば
 〒556-8503 大阪府大阪市浪速区敷津東2丁目1-4-1
 南海なんば第1ビル2階・3階
 会場アクセス▶南海電車「なんば駅(中央出口)」下車、南へ約800m、徒歩約12分
 ●地下鉄御堂筋線「なんば駅(5号出口)」下車、南へ約1,000m、徒歩約15分

第1日目『ことば療法士』講習会
 <6月26日(土)> 定員:30名

10:10～12:00
 徳田 和恵 福岡国際医療福祉大学 言語聴覚専攻科 非常勤講師

私たちがなすべきアセスメントは？

13:00～14:00
 後藤 浩子 予防医学心理学(実) 研究室副代表 臨床心理士 公認心理師 日本音楽療法学会認定音楽療法士

～音楽療法で免疫カアップ～

14:10～15:10
 高橋 亮太郎 日本音楽療法学会認定音楽療法士 神経学的音楽療法フェロー会員 株式会社キートン代表

介護予防も音楽で～ドレミ♪で10才者返り～

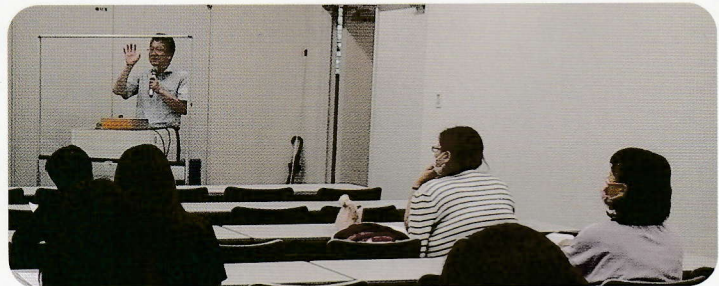
15:20～16:50
 宍戸 理恵 SISIDO Music room 主宰 (MITS) 全国音楽療法協会理事

ことばの音楽療法 (前半)

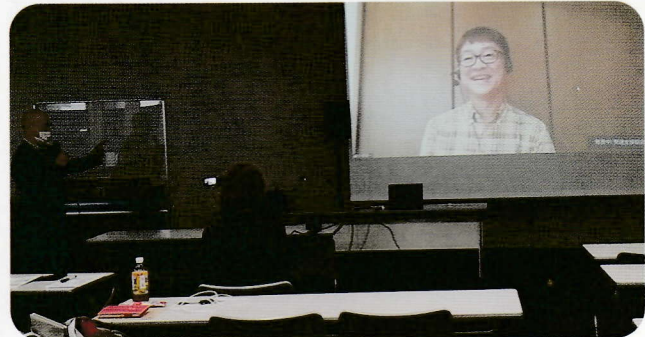
お問合わせ先▶
一般社団法人 発達支援協会 事務局
 TEL&FAX: 052-505-5255
 メール: takadaaroma@gmail.com

日本ことば療法学会は 障がい者・者のことばの療法を調査・研究・発表・実践を通して療法の普及及びに増進を期し、障がい者・者のことばの獲得、言葉によるコミュニケーション能力を高めることを目的とする。
 協賛: カトレア・サービス、JHTA、発達音楽研究所、ほか

◆ コロナ対策として、会場に消毒液の設置、体温測定、定員の50%規制を行います。 ◆



「第2回 堀田喜久男賞」表彰式の様子と盾



トンネル

委員長 高橋 亮太郎

コロナウイルスとの闘いで明け暮れる毎日が続いています。なのに本当にやるのかオリンピック…。それでもワクチン接種が進むことで今後の感染拡大阻止には一定のメドが立ち、2回目接種から約4週間で重症化しない身体になるそうです。私も仕事でゼロオから百才まで相対するため感染元となったら大変。接種を腕まくりして待っています。

そんな中、地域に緊張が走りました。徒歩10分の場所で巨大ニシキヘビが逃走。発覚時には既に下水道をつたって周辺の家屋の庭や床下、天井裏に居る可能性があり…という報道。場所的に小さな子どもが多く、子を持つ親や保育園・幼稚園・小学校の先生は、子どもが丸呑みされる恐怖と本気で向き合う日々が半月も続いたのです。犬が草むらに向かって吼えていると、「そこか?!」と身構えるのもクセになり。遠く多摩川の向こうでは「イッテQ」のイモトさんが窓を開けられず震えていたそうです。そんなスリリングな日々が終わって感じるのは、「ヘビ1匹にここまでビビる人間は弱い存在だなあ」ということ。♪手のひらを太陽に では「みんなみんな～」と歌っていますが、地球全体ではトモダチより食物連鎖の関係のほうが多いので、サシで向き合うと今回のようにプリミティブな恐怖に襲われます(笑)。生態系の数億年の歴史から俯瞰すれば、たかだか数万年の人類などド新人。後から出てきたくせにズカズカと奥地に進出し、特にこの数百年は掘るわ焼くわ、削るわ捨てるわとやりたい放題。

現代のように人間が居住領域を拡げていく以上、エボラやコロナなど殺人ウイルスに出くわすのも必然だったのですが、彼らはいわば先住民。直接感染するか何かの媒介で広まります。この長い閉塞を抜けると明るい未来が待っているのでしょうか? さにらず、実はもう地球環境がコロナ前から大変なことになっていて、2030年迄の私達の生き方次第で未来の人類が生存できるか否か決まるところまで迫っているとのこ

と。主な問題は ①温暖化による天災増 ②食糧生産システムの弊害 ③マイクロプラゴミの人体吸収の3つ。これらは別モノではなく、…食料増産で森林を伐採→CO2が吸収されず増えて気温が上がる→氷が溶けて海面が上がる→地下水も使うので地盤は沈下→沿岸部は大雨や高潮に津波の被害が甚大に→プラゴミも流出して海洋汚染が進行… 実例がタイの大洪水ですが、今の児童が成人する頃には日本でも年中行事になるかもしれません。食糧生産は地球への負荷が増大。よく見られるスーパーの肉1パック200gを生産するのに使われる水はなんと3千ℓ! エサの穀類を育てるのに水の消費量が凄いです。EUが推奨する食事メニューではなんと豚・牛肉はたった98g/週で、代替食材は大豆やナッツ類! 状況はそこまで切迫しています。プラゴミのほうはリサイクルに回しているから大丈夫、と思っていたら実際にリサイクルされているのは1割くらいで、処分はいまマレーシアに集中。そこから紫外線や海水でマイクロ～ナノmmと微細化して気流と潮流で日本はじめ世界各地に還流しています。最新研究ではその一部は人体に入って排出されず、妊婦の胎盤にも溜まって栄養とホルモンの吸収を妨げ胎児の成長を阻害する。分解までは数百年…つまりプラスチック粒子による「次世代の劣化」の開始を意味します。対策も始まっていて、既に神奈川県大磯町ではペットボトル飲料の販売を廃止。バリ島はレジ袋を禁止。

私達のライフスタイルが地球環境を損ねているというツライ現実ですが、そこで生きるグレタさんら若い世代が「私たちの未来を奪うな!」と叫ぶのもごもとも。私に新たな提言ができるわけではありませんが、せっかくことばが出るようになって、環境がNO FUTURE! では子ども達に申し訳が立ちません。子どもの未来に携わる者としてまず意識だけでも共有する必要があると考え、小欄で。政治的な話ではなく、人類の課題。コロナ禍を抜けたら、次は環境です。



ことば音楽療法士、6年目の歩み!

一般社団法人 Rights 音楽療法ライツ

水尻真美香

ことば音楽療法士の水尻と申します。数年前に一度記事を書かせていただきましたが、この度2度目の投稿をさせていただきます!

私は高齢者デイサービスに勤務していた2016年にことば療法士とことば音楽療法士の資格を取得しました。きっかけは失語症のご利用者さんに音楽を使って楽しみながらリハビリができないか?という疑問からでした。気になったら止められない性格で、インターネットで「ことば療法士」の言葉を見つけたときは「これだ!」と運命を感じたのを今でも覚えています。

取得後は高齢者向けにことば音楽療法を取り入れたリハビリも実施(学会にて発表)し、その後、かねてより夢だった~児童からお年寄りまで~を掲げ、全ての皆様と音楽を通じて関われるよう「みずしり音楽教室」を立ち上げました。児童への知識も持ちたいと、保育士の資格も取得しました。様々な方と関わっていく中で、多職種連携を強く意識するようになり、現在はご縁があって福祉の総合的な業務を行っている一般社団法人Rightsの一員として、音楽療法士・介護支援専門員・法人後見人の業務を通して、様々な方の意思決定や自立の支援・サポートをさせていただいています。

ことば音楽療法では、月に一度地域向けイベントとして、ことばにお悩みのお子さんを対象にセッションを実施しています。また、児童~高齢者までの、個別セッション(訪問・来所)/集団セッション(施設訪問)/リモートレッスン(個別・高齢者施設)/ことば音楽療法士指導者育成インストラクターとして資格取得のスクーリング(リモート可)/資格取得後の意見交換・交流会(リモート)などを行っています。最近では遠方の方のセッションのご依頼が非常に多く、各地域でたくさんのことば音楽療法士の仲間が増えることが必要と強く感じております。

コロナ禍で、音楽を通じて時間を共有することは非常に困難な場合もありますが、その中でもリモートという新たな手段が生まれたり、音楽の持つチカラの素晴らしさ、必要さを改めて考え直す事が出来ている気がします。

まだまだ出口の見えない日々が続きますが、ことば音楽療法が持つ役目や目的はブレずに意識し続け、日々楽しくセッションをしていきたいと思っています。

『コロナ禍における療育と子どもの成長』

どれみだんけ2号店

天野 咲輝

児童発達支援・放課後等デイサービス どれみだんけに入社し、ことば音楽療法士として3年目を迎えました。2年目を迎える前に新型コロナウイルスが流行し始め、1回目の緊急事態宣言が発令され、感染対策をした上でレッスンを進めることとなりました。

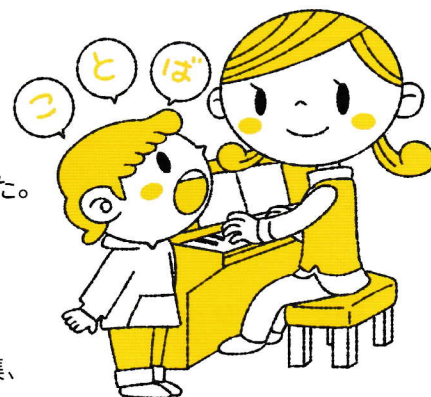
手洗い・手指消毒・検温、講師と利用者のマスク着用を徹底し、感染対策に努めました。水や消毒液で濡れることが苦手な子ども 検温が苦手な子どもがいる中、とても丁寧に手を洗う子ども 服が濡れないように慎重に手を洗っている子どもなど新しい発見をすることもできました。今では習慣となり、声を掛けると二つ返事で手洗い場へ行ってくれる子どもがほとんどです。マスクは視覚的に変化がわかる為、「なんでマスクしてるの？コロナだから。」と自問自答することが口癖になっている子どもやマスクが着けられない、着けられてもマスクを噛んでいるなど 戸惑いが見られました。接触人数を減らすべく、未就学児は机なしで2人態勢のレッスンから座学でのマンツーマンのレッスンに変更しました。座学に変更したことで落ち着き、集中力が高まった子どもが大半を占め、これもまた新しい発見でした。また、『zoom』を使ったオンラインレッスンも取り入れました。画面を通してレッスンをすることは講師も子どもも戸惑う中、自宅にてオンラインで受けることで よりリラックスして集中して取り組める子どももあり、環境の影響の大きさに改めて感じた瞬間でした。

新型コロナウイルスが流行して1年以上が経ちますが、まだまだ終息のめどが経ちません。その中で保護者の方から「マスクを着けられるようになりました！」「この機会に人との距離がとれるようになりました！」など他にも子ども達の成長の声を聞くことができました。新型コロナウイルスが早く終息し、コロナ禍前の日常の中でことば音楽療法ができればいいなと思います。



障がい児・者のことば療育基金

第1回障がい児・者のことば療育活動基金の発表が日本ことば療学会にてありました。応募があるのか心配していましたが、『ことばの療育部門』：7企画 『ことばの教材部門』：3企画の応募がありました。



● ことばの療育部門

活動テーマ『ことば療育センター設立に向けて』 受賞者：小林紳一

ことば療育センターに必要なことばの療育に関する各業務に関する情報収集、実態調査、教材・出版物等の整備等を行う。各業務における詳細は以下の通り。

1 相談窓口（情報提供）業務

ある地域における役所、療育センター等へのことばの療育に関する相談、依頼などの情報収集・実態調査。

2 ことばの療育活動（セッション実施など）業務

充実した療育活動実施に向けての人材・設備・運用方法等に関する情報収集・考察。

3 ことばの療育に関するセミナー（講演会当）業務

ことばの療育に関する内容の周知・新たな提案・指導者育成等を目的とした企画に関する情報収集。

4 言葉の療育に関する出版物、教材等の紹介・販売業務

出版物、教材等の販売に向けての整備・制作。

お二方の活動は第9回
日本ことば療学会にて
発表をして頂きます。

● ことばの教材部門

活動テーマ『ことば音楽療法を使つての絵本作成』 受賞者 深谷靖子

ことば音楽療法では、市販されている絵本を使ってセッションをすることが多いのですが、著作権の関係で紙芝居式にコピーをすることが禁じられており、外部でのセッションに持っていきにくくなっています。しかし、小さい絵本だとグループレッスンでは見にくく感じられるので、ことば音楽療法として堂々と見てもらえる絵本を作りたい。

- ・基本構造にのっとり、3・3・7拍子のリズムに絵本の文章をあてはめることで障がい児は理解がしやすくなるので、オリジナルの絵本を作成し、文章（セリフ等）を3・3・7拍子にあてはめられるような絵本を作りたい。
- ・障がい児に覚えてもらいたい言葉を絵本の中に入れ込み、実生活でその言葉を使えるようにしたい。
- ・SST（ソーシャルスキルトレーニング）も取り入れるような絵本にして、自分と他人を区別し、相手の見えない感情もイメージできる絵本を作りたい。
- ・あっちゃんあがつくの絵本はことば音楽療法でよく使われているが、それ以外にひらなが覚えてもらえるようなことば音楽療法専門の絵本を作りたい。

第2回のことば療育基金の応募は令和4年1月1日より開始いたします。沢山の応募をお待ちしております。

Facebook、Twitter 随時発信中!!

一般社団法人 発達支援協会



会報誌やHPに載っていない事も沢山更新中♪

Facebookページはアカウントをお持ちでない方も見ることができ

どちらも「一般社団法人 発達支援協会」と検索してください！

コロナ禍でますますSNS経由レッスンのご依頼が増えていま

Facebookページの「いいね！」の数が多いほど、沢山の方に見ていただく事ができるようです！ぜひご協力をお願い致します！

自分のセッションに役立つ情報が得られ

コラム⑱

穴戸理恵

約4万年前までユーラシアに住んでいた旧人類ネアンデルタール人。埋葬文化のあった彼らの言語とは。彼らは歌ったのか。学生のころから音楽について様々な方向からのアプローチに興味があった。歴史や民族、宗教音楽、日本の古代史にも興味があり音楽に関するものを探していた。

『一音楽と言語から見るヒトの進化—歌うネアンデルタール (スティーブン・ミズン著)』そう古くない本だがこの本も興味深いことがたくさん書かれている。自然界のオノマトペの模倣、母音、表情、感情、ゼスチャーからの言語について、また言語についての脳障害のいろいろな人のケース (音楽家の場合、話しても意味をなさない人、言語は理解できるが話せない人、文字は書ける、失語症、失音症等) 障がいの多様性についても多く触れている。その他、紹介しきれないので興味のある方は読んでみてください。

本文中にてでくるカナダのクィーンズ大学のシュタインケ教授らの提唱によると、メロディーと歌詞は脳内の異なる場所に保管されるが、連絡が保たれ歌を繰り返し聴くと双方のシステムの神経リンクが強固になり、一方を活性化することで自動的に他方が刺激されるとある。歌の記憶は、ことば記憶とメロディー記憶というふたつのシステムがかかわるため、脳内でより広範で複雑なネットワークを構築するということだ。

堀田先生の著書『言葉遊び歌が発語を促す』にも音楽や視覚的、直感的、イメージ的なものには主に右脳が働き、言葉や知的、論理的なものには主に左脳が働くと言われているが、この言葉遊び歌には楽しく歌いながら自然にその両方を調和的に働かせ活性化させる要素があり、これを生かした効果的教材を使った長期的な学習展開により、発語を促し、言葉や文字を体得させていくことができると考える。と第1章の最後にある。

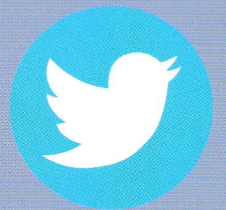
ご自身のページや事業所で発信していることば音楽療法に関する記事のシェアをさせていただきます！教室や事業所の宣伝のお手伝いをさせていただきます！

学会やセミナーの案内もいち早くお届けします！

2021年6月現在
Facebookページいいね数：240件！
Twitterフォロワー数：900件！



Facebook



Twitter

認定校

■名古屋市

【発語音楽研究所】

療育責任者：堀田喜久男

■大阪府東大阪市

【深谷音楽教室】

主宰者：深谷靖子

発語音楽療法

検索

認定教室

ことば音楽療法の認定校・教室です。各教室が事務局にお問い合わせください。

認定校・認定教室を全国にて募集しております。

TEL & FAX：052（505）5255<事務局>

各教室へのご連絡はホームページ『ことば音楽療法』をご覧ください。

◆関東地区◆

- ⑨ 東京都江戸川区【ことば音楽療法 あ・い・う・え・お】 主宰者：嬉 利恵
- ⑰ 千葉県習志野市【千葉ことば音楽教室】 主宰者：小林紳一
- ⑳ 埼玉県蕨市【mana ことば&音楽教室】 主宰：広井真奈
- ㉒ 千葉県野田市【ぱぷりかランド】 主宰者：田村智子

◆東海地区◆

- ② 愛知県【SiSiDo Music room】 主宰者：穴戸理恵
- ④ 三重県【樋口音楽教室】 主宰者：樋口なおみ
- ⑩ 愛知県碧南市【ひだまり教室】 主宰者：小笠原清恵
- ⑬ 愛知県常滑市【長鎌音楽教室】 主宰者：長鎌明美
- ⑯ 岐阜県大垣市【music room SORA】 主宰者：兒玉貴栄
- ㉓ 愛知県知立市【ことば音楽療法 はらっぱ】 主宰者：原田悦子



㉒ ことばの教室Warauta(笑歌)

◆関西地区◆

- ① 大阪府【さゆり音学院】 主宰者：土田靖子
- ③ 京都府舞鶴市【でんでんむしの会】 主宰者：松浦光子
- ⑦ 京都府舞鶴市【さがん発語音楽教室】 主宰者：目美香
- ⑧ 大阪府枚方市【安宅ことば音楽療法教室】 主宰者：安宅千世子
- ⑫ 兵庫県芦屋市【きじ猫 音楽工房】 主宰者：上野奈央
- ⑭ 大阪市都島区【音楽セラピーみゅーじっくらんど】 主宰者：末吉裕美
- ⑮ 大阪市平野区【一般社団法人みらいぴっころ】 管理者：森嶋裕子
- ⑱ 兵庫県西宮市【一般社団法人Rights 音楽療法ライツ】 主宰者：水尻真美香
- ⑲ 京都市北区【御菌橋ことば音楽教室】 主宰者：中島真治
- ⑳ 奈良県奈良市【にこにこムジカ】 主宰者：大井裕子
- ㉑ 和歌山県和歌山市【古庵音楽教室】 主宰者：古庵優子
- ㉒ 大阪府八尾市【ことばの教室 Warauta(笑歌)】 主宰：馬場富美江
- ㉔ 大阪市住吉区【児童発達支援放課後ディサービス にーの】 主宰者：黒田千世
- ㉕ 大阪府池田市【えみふる音楽教室】 主宰者：寺川恵美
- ㉖ 大阪市西区【ハッピースマイル北堀江】 主宰者：松浦純子

◆九州地区◆

- ⑤ 福岡県行橋市【ことばの音楽教室】 主宰者：工藤知子
- ⑥ 福岡県遠賀郡【りずむの木】 主宰者：石井純子
- ⑪ 福岡県行橋市長木【ことばの♪パッソ♪教室】 主宰者：松尾範子
- ㉗ 福岡県中間市【まこちゃんことばの音楽教室】 主宰：久保真奈子

※数字は認定順

ことば音楽療法士 認定者 ▶250名（受講中も含め）令和3年6月現在

一般社団法人 発達支援協会 事務局

〒452-0821 名古屋市西区上小田井2-98 JHTA内 TEL & FAX:052(505)5255

ことば音楽療法 日本ことば療法学会

検索